

開催趣旨

「建設技術展2022近畿」は、民間企業が開発した新技術・新工法を展示・紹介する場において、産・学・官の交流を行うことで、これまで培われてきた建設技術のより一層の高度化や、より広範囲な技術開発の促進へとつなげ、新技術の各工事への積極的な活用を促すことを目的とするものです。

そのキーワードは

- ① 民間分野における建設事業に関連した技術開発への取り組みを紹介
- ② 新しく開発された技術の育成と普及
- ③ 技術開発に向けた建設技術者の意識の高揚
- ④ 発注者のニーズを広報し、新技術の開発・普及につなげる

技術展の開催を通して、ハード・ソフト両面での社会基盤整備に関連した技術の役割や意義を発信していくとともに、発注者ならびにコンサルタント、ゼネコン、資材業者など幅広い方々へPRしていくことで、建設産業の一層の発展に寄与していきたいと考えています。

また、近年より各出展者から要望の多い新たな技術分野として「維持・更新」を設け、本格的なインフラの維持管理・大量更新を迎えた建設業界へ情報も発信、さらに、国土交通省が推進するi-Constructionを視野に、「DX・ICT」分野ではICT技術を、「施工」分野では「規格の標準化」に関する技術も紹介しています。



近畿地方整備局長・
土木学会 関西支部長 渡辺 学氏



近畿建設協会 理事長
谷本光司氏



来場者数

11/ 9 [水]
11/10 [木]
延べ **16,595人**

技術出展

技術分野	出展者数	ブース数
★ 防災	36	40
↑ 環境	7	7
↓ コスト削減	3	3
♥ 安全・安心	29	45
工 施工	37	44
↻ 維持・更新	53	59
💻 DX・ICT	41	49
👥 団体	7	10
🎓 学校	13	13
合計	226	270

開催イベント

関西ライフライン研究会 地震防災フォーラム

「関西地域の断層と ライフラインの地震対策のあり方」

11/9 [水] 10:45-12:15



吉見雅行氏

吉見雅行氏(国研産業技術総合研究所)が基調講演を行った後、鞆田泰子氏(神戸大学大学院 准教授)のコーディネートで、定藤誠一郎氏(京阪電気鉄道(株) 経営企画部課長)、松本泰明氏(神戸市水道局 技術企画課長)、足立幸郎氏(一助阪神高速先進技術研究所 専務理事)が断層リスクとその対策について、議論を交わしました。



NPO法人あすの夢土木 シンポジウム

「インフラメンテナンスと働く人たち」

11/9 [水] 15:30-17:00



林田充弘氏

林田充弘氏(阪神高速道路(株) 保全交通部 中長期計画担当部長)が「阪神高速道路リニューアルプロジェクトの取り組みについて」と題して基調講演を行った後、大西有三氏(あすの夢土木 理事長)のコーディネートで山崎エリナ氏(写真家)、田中直子氏(国土交通省 近畿地方整備局 近畿道路メンテナンスセンター 技術課工務係長)、熊澤美早氏(阪神高速技術(株) 土木事業部 調査点検事務所専門役)、櫻井英子氏(大林組 本社土木本部 生産技術本部 橋梁技術部 技術第三課副課長)が意見交換をしました。



土木実験・プレゼン大会 [土木学会 関西支部]

～どうして? なぜ? が一目でわかる～

11/9 [水] 14:00-16:00

一般層に土木に興味を持ってもらうための平易な実験(ウェブ地図、テールアルメ工法、斜面崩壊、鉄道の高架化)などのプレゼンテーションを行いました。

